

Mini-WAN

国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行(No.207)



三河港湾事務所だより



2024年12月号



川と海のクリーン大作戦に参加!

10月20日(日)に田原市にある西の浜海岸で清掃活動が実施され、三河港湾事務所の職員も参加しました。毎年、西の浜で活動しているボランティアサークル「亀の子隊」と合同で行っており、亀の子隊の清掃活動は今回で350回目になるそうです。

西の浜は秋冬は強い風が吹き続ける場所で、今回の清掃活動も風が吹き荒れる中の実施となりました。浜辺に向かって風が吹くため、海のごみが西の浜に打ち寄せられます。海のごみは、上流にあたる河川からのごみの流入によるものが多いです。ゴミをポイ捨てしないという普段の姿勢を強固にし、水質や生き物のために地域のみんなで海の環境をきれいにしていきたいと思います。

三河港湾事務所では引き続き三河湾の環境改善のための取り組みを実施していきます。



【川と海のクリーン大作戦のねらい】

- ・ゴミの除去による河川・海岸の美化、環境改善
- ・ゴミの投機、置き去りをしないマナーの向上啓発
- ・川や海とのふれあいによる川・海の魅力の再発見
- ・住民、自治体、管理者等の連携・協働による川づくり～まちづくり

川と海のクリーン大作戦HP: <https://www.cbr.mlit.go.jp/clean/>



平成11年、長良川で始まったクリーン大作戦
昨年までの参加者は約90万2,000人。
集めたゴミは、約12,000トン!!



当事務所職員あいさつ



参加者で集合写真



海岸清掃の様子

秋の530運動を実施しました

11月11日(豊橋市民の日)を含む10日間は豊橋市の530運動環境協議会が提唱する「秋の530(ゴミゼロ)運動」の期間です。

530運動は、豊橋市が発祥といわれており、次世代に緑豊かできれいなまちを残すため、「530のまち」を目標としてまち全体が一体となって環境保全のため取り組んでいる活動です。

三河港湾事務所では11月13日(水)に530運動の取り組みに参加し、事務所周辺で清掃活動を実施しました。このような清掃活動を春と秋の年2回実施し、まちの環境や三河湾流域環境の保全に協力してまいります。

530運動環境協議会HP: <https://www.530toyohashi.jp/>



三河港湾事務所ホームページ <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>

三河港湾事務所公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>



みかわこうわん

三河港湾

検索



国土交通省 中部地方整備局
三河港湾事務所
公式Facebookページ



10月12日（土）、南知多町篠島で「おんべ鯛奉納祭」が開催されました。

当日早朝、篠島漁業協組合の組合長を先頭に、奉納される鯛を詰めた木箱を運ぶ白装束、漁港から漁船に同乗する黒装束（背広姿）、年に一度の神事を祝う祭法被、賑やかな山車、地元小学校の音楽隊等の長い行列が奉納船の出発式が行われる漁港までゆっくりと進んでいきました。

到着した漁港には多くの住民が集まっており、神主による祈禱、来賓挨拶、マーチングバンドによる演奏、鏡割りと、厳かな雰囲気と高揚した気分の中、奉納出発式が行われ、いよいよ奉納船の出航。

大漁旗を掲げた奉納船が次々と出発していき、遠く海上に長く伸びる船列と風にはためく大漁旗、圧巻の光景でした。

今年は天候にも恵まれ、加えて、8月に篠島の観光大使に就任したタレントの千原ジュニアさんが参加したこともあり、例年以上の盛り上がりを見せていました。

鯛の奉納は年3回（6月、10月、12月）ありますが、とくに毎年10月12日開催の奉納祭は本祭のため大変盛り上がるイベントです。

読者の皆さんも是非篠島へ足を運んでみませんか？



奉納される鯛を運ぶ隊列



大漁旗を掲げた漁船（篠島漁港）

おんべ鯛奉納祭は、塩漬けにした鯛を毎年決まった数だけ伊勢神宮に奉納する祭礼で、1000年以上の歴史があるとされています。篠島では島民をあげてこの伝統を守っていくため平成10年から漁港でイベントが行われるようになりました。祭当日は、古来からの作法により整えられた「おんべ鯛」が中手島の干鯛調製所より篠島港まで運ばれ、厳粛なお祈りのあと、奉納船は伊勢の神社（かみやしろ）港に向けて出港。島内では、餅投げや抽選会などのイベントがあり、大いに湧くお祭りです。（Aichi Nowより転記）

合同防災訓練に参加しました！

11月19日（火）、三河港御津地区の立地企業で構成される、御津臨海企業懇話会の合同防災訓練が実施されました。

訓練は巨大地震に伴う津波避難を想定して、発災後、各企業において一次避難し、二次避難として避難用高台へ移動しました。二次避難の確認後は、豊川市危機管理課から応急担架の作り方や、けが人の運び方について講話を受けました。

緊急時はとっさの判断が重要になりますので、今回の防災訓練を受け、繰り返し訓練を行うことの重要性を再確認しました。

津波からすぐに避難できるように、日頃から非常持出品を準備しておいたり、避難場所・避難経路を家族で決めておいたり、アプリやハザードマップをつかって避難の訓練を行ってみましょう。

（「内閣府 防災情報のページ」より）

<https://www.bousai.go.jp/kyoiku/poster/tsunami.html#:~:text=>



（揺れ）を感じたり津波警報を見聞したら

津波から すぐに 逃げよう！

津波浸水想定区域
津波で浸水が想定される場所の目印

津波避難場所・津波避難ビル等
津波から逃げるための避難場所の目印

日頃から備えよう！

アプリを使って、いざというときにスムーズに避難するかならせます。

家族が一緒にいないときでも、それぞれどこにどう避難するか決めておきましょう。

災害時に必要なものをあらかじめ準備して、すぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。

内閣府（防災担当）



海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おおいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間※ 9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)
※一部の地域を除きます。

国土交通省 中部地方整備局



三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL 0532-32-3251

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL 0569-21-2311

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>